

2008年4月28日

## いすゞ、インドネシア事業を新体制へ移行

### - パンチャモーター社への出資比率引上げ／商用車事業強化 -

いすゞ自動車株式会社(本社：東京都品川区、社長：細井行、以下いすゞ)とPTアルヤ・カリスマ社(本社：インドネシア ジャカルタ市、社長：レジナ・オクソリ・スシアント、以下AK)は、インドネシアにおける商用車の生産・販売会社PTパンチャモーター社(PT Pantja Motor、以下パンチャ)へのいすゞの出資比率を引上げ、いすゞ、AKともに44.94%の対等出資とし、社名をいすゞ アストラ モーター インドネシア(Isuzu Astra Motor Indonesia)とすることで合意した。

いすゞは、2月にパンチャを持分化して商用車事業担当役員を派遣しており、現在、パンチャの主な株主とその出資比率は、AK50.0%、いすゞ39.88%、PPI10.12%となっている。今回は、いすゞがAKの保有株式から5.06%分を買い受けることで、44.94%まで出資比率を引き上げると同時に、新たに社長を派遣する。尚、株式譲渡は近日中に行う予定である。又、いすゞ アストラ モーター インドネシア社は、アストラインターナショナル社(PT Astra International T.B.K)が現在保有しているインドネシア国内の商用車ディストリビューターの権利と機能を引き受ける。移管後はいすゞが主体となって、商用車事業を運営していく。

インドネシアは東南アジア諸国の中でも、いすゞの主力商品である小型トラックの需要が最も大きい市場である。今回のいすゞの出資比率引き上げに伴い、いすゞは商用車の生産・販売を強化し、高シェアの獲得を目指すとともに、インドネシア事業をタイに続くアセアン事業の柱として位置付けるべく商用車事業の拡大・強化と安定化を目指す。

以上

(ご参考)

【いすゞ アストラ モーター インドネシア社 概要】

会社名	Isuzu Astra Motor Indonesia
代表者（予定）	松尾 賢二
設立年	1974 年
所在地	インドネシア ジャカルタ市
資本金	920 億インドネシアルピア（約 12 億円）
主な株主	PT アルヤ・カリスマ 44.94%、いすゞ44.94%、PPI 10.12%
主たる業務	商用車（いすゞNシリーズ／Fシリーズ：日本名（エルフ／フォワード）、及び多目的車（いすゞパンサー）の組立て、販売

【PT アルヤ・カリスマ社概要】

会社名	PT ARYA KHARISMA
代表者	レジナ・オクソリ・スシアント
設立年	1988 年
所在地	インドネシア ジャカルタ市
資本金	400 億インドネシアルピア（約 5 億円）
主な株主	アストラ・インターナショナル 100%
主たる業務	持ち株会社